

戦争と平和 ウクライナ・ガザ、そして広島からの問いかけ

戦争と平和は、人類史を貫く二つの極である。科学技術が進歩し、国際機関や法の枠組みが整備された現代においても、戦火は容易に消えない。近年のウクライナ侵攻とガザでの武力衝突は、その厳しい現実を突き付けている。

ロシアによるウクライナ侵攻は、国際秩序の根幹をなす国家主権と領土保全を揺るがした。長期化する戦闘は都市を廃墟と化し、多くの市民が避難を強いられている。その影響はヨーロッパにとどまらず、エネルギーや食料の供給網を通じて世界全体を揺さぶり、戦火の「遠さ」を感じていた人々にも、その影響が身近なものとなった。

一方、ガザでは幾度となく繰り返される軍事衝突が、人々の生活を破壊し続けている。学校や病院といった守られるべき場所さえ攻撃にさらされ、子どもや高齢者を含む多くの民間人が犠牲となっている。報復と暴力の連鎖は憎悪を深め、停戦や平和の道を閉ざしてしまふ。ここにも「安全」と「尊厳」という基本的権利を奪われた市民の姿がある。

こうした現実の前に、今年の8月6日、広島平和記念式典で湯崎英彦広島県知事が発した言葉は重みを増して響いた。知事は「核抑止は欺瞞である」と明言した。核抑止とは普遍的な自然法則ではなく、人間の心理に基づくフィクションに過ぎ

ず、誤解や錯誤、指導者の独断によって簡単に破られてきた歴史があるという。万一それが破綻し核戦争に至れば、人類と地球は「再生不能な惨禍」に直面する。国民も国土も守れない安全保障に意味はない、と厳しく問いかけた。さらに、巨額の費用を核抑止に投じる現状を批判し、その一部を核に依存しない新たな安全保障の仕組みに振り向けるべきだと訴えた。

そして知事は「諦めず、粘り強く現状を変えよう」と呼びかけた。核兵器廃絶は遠い理想ではなく、不断の歩みによってのみ近づく現実である。被爆地広島からのこのメッセージは、絶望の中でも希望を手放さない人間の意志を

示している。

戦争と平和を考えると、我々が直面する課題は「現実主義」と「理想主義」のはざまにある。武力の均衡や抑止に依存する安全保障は、目先の安定をもたらすかもしれないが、同時に未来を危うくする。平和を築くには、対話の積み重ねと、相手の痛みを想像力を働かせる努力が不可欠だ。小さな歩みでも決して無駄にはならない。

ウクライナやガザの惨状、そして広島からの声が重なり合うとき、私たちが選ぶべき道は明らかである。暴力に依存するのではなく、諦めずに変革に挑み続けること。戦争と平和の選択は、遠い国の問題ではなく、私たち一人ひとりの未来に直結している。核の時代を超えるか否か——その答えは、私たちの行動にかかっている。

理事長 坂林哲雄

■■■■ 私たち一緒に働きませんか！ ■■■■

■ まあち 〒359-1103 所沢市向陽町 2001-3

訪問介護 04-2941-2755

■ ふれあい岩槻 〒339-0057 さいたま市

訪問介護 岩槻区本町 1-5-33

048-749-5773

私たちは「仕事」「福祉」「生きがい」活動に取り組む高齢社会を支え合うために生まれた生活協同組合です。年齢に関係なく、気軽にどなたでも協同組合に入れます。老若男女が支え合う「福祉のまちづくり」をあなたも一緒に！
ご加入には①所定の申込書②出資金（一口千円から）が必要です。お申込み・お問い合わせ 04 (2941) 2111

第20回通常総代会の報告

去る6月22日(日)に第20回通常総代会が所沢地域福祉事業所まあ会議室にて開催されました。

定刻9時30分に島野正紀理事より、総代80名の内、過半数の合計6名(本人出席7人、書面出席59人)の出席で定款第61条に規定する過半数を満たしており成立していることが報告されました。



第1号議案から第6号議案について、亀井隆専務理事より一括して報告されました。第2号議案の監査報告については、茂木紀晃監事より報告がありました。

提案後、質疑がありその後採決が行われ、すべての議案は賛成多数で議決されました。

議案の主な内容と質疑の内容は、以下のとおりです。

■第1号議案 2024年度の活動のまとめ

2024年度は介護保険法の改定があり訪問介護報酬が約2%引き下げられ、厳しい状況の中での1年となりました。こうした中でも、福祉事業収入は95,093千円で前年実績及び予算を上回り事業剰余は481千円の黒字となりました。介護現場の職員の奮闘の結果と評価できます。

組合員活動では、所沢地域での月2回のサロンの開催、北本地域での全国地域起こし名人・達人サミットでの取り組み、フードパントリーの取り組み、三郷地域では、空き家を活用した介護予防サロンの活動、映画上映などが取り組まれました。

■第2号議案 2024年度決算報告と剰余金処分

☆貸借対照表

・資金面では、流動負債より流動資産が約5倍あり資金繰りは安定しています。

☆損益計算書

・福祉事業収入は予算比103.1%、前年比100.8%。経常剰余は429,172円の黒字となりました。

☆剰余金処分

・次期繰越剰余金は10,719,185円となりました。

資産の部(単位:円)		負債・資本の部(単位:円)	
流動資産合計	30,476,918	流動負債合計	5,952,341
固定資産合計	6,861,708	固定負債合計	6,910,000
		出資金	11,248,000
		法定準備金	2,497,100
		当期末未処分剰余金	10,731,185
資産合計	37,338,626	負債・資本合計	37,338,626
損益計算書(単位:円)		剰余金処分(単位:円)	
福祉事業収入	95,092,817	前期繰越剰余金	10,612,013
福祉剰余金	9,596,797	当期末未処分剰余金	10,731,185
事業経費(本部)	9,115,437	内当期剰余金	(119,172)
事業剰余金	481,360	法定準備金	12,000
経常剰余	429,172	教育事業繰越金	6,000
当期剰余金	119,172	次期繰越剰余金	10,719,185

■第3号議案 2025年度活動方針と予算

2025年度は居宅介護支援事業部門のケアプランが休止となり、福祉事業収入が減少し厳しい経営環境の年になりますが、経費の節約など工夫し全部門で努力し経常剰余での黒字を目指します。

理事会の基に将来計画検討委員会を設置し、①所沢地域福祉事業所の有効活用、②介護保険事業以外の新規事業の検討、③経営規模が縮小するなかでの組織のあり方の検討を進めます。

2025年度予算は、福祉事業収入80,410,000円(前年度95,092,817円)、経常剰余金48,172円(前年度429,172円)となります。

■第4号議案 補充役員の選任の件

理事1名が欠員となったため、役員推薦委員会より補充役員の推薦があり、麻生幸氏が理事候補として提案されました。

■第5号議案 2025年度役員報酬の件

役員報酬は計上せず、無報酬とすることが提案されました。

■第6号議案 議案議決効力発生

各号の議案の本旨に反しない範囲の字句の修正を理事会に一任します。

〈質疑内容〉

書面議決書に記載された意見に亀井専務理事より回答がありました。

○意見…北本支部では高齢化が加速し新しい取り組みは、なかなか難しい。楽しみながら地域の中での居場所作りに取組もうと思います。

↓回答…楽しみながら活動し、いつまでも健康でいることはとても大事です。介護予防活動は、さいたま高齢協の重要な活動テーマです。今後、北本市、所沢市、三郷市以外にも地域支部をつくり活動を広げたいと思います。

○意見…利用者さんに寄り添って頑張っているものがあります。介護の現場は厳しいものがありますので、しっかりと配りをお願いします（ヘルパー）。

↓回答…現場の実態や声をより把握できるように努めたいと思います。2025年度より職員会議を、現場での困りごとや事例の交流を中心とした運営にする予定です。

○意見…政府の医療・介護（福祉）への無配慮は高齢者の多くなる現代社会に対し痛すぎます。医療生協活動をする私共にも予算を取れない項目が多くなっています。めげずに頑張る高齢協！共に頑張りましょう。

↓回答…地域の医療や介護を守るため、国や行政に対して、声を上げていく必要があると思います。高齢

協連合会の総会でも全国からマスコミや行政に対して声をあげようと確認しました。

ピアノコンサート



総代会終了後、ピアノコンサートが開催されました。演奏者は、ヘルパーステーションまあちの利用者さんでもある千頭和達さん。生誕時より全盲。洗足学園音楽科で学び、その後、演奏活動を続けています。令和元年より、まあちが家事援助、同行援護を支援。

演奏曲目は、「花は咲く」「つぐない」「トップオブザワールド」などが披露されました。最後は、参加者全員で手話をまじえての「ありがとう」の合唱を行いました。

☆新役員の紹介

♡新職員紹介



ふれあい岩槻
八子 留美

1月より、ふれあい岩槻に入職致しました八子（やこ）と申します。

前職も同じ訪問介護でサービス提供責任者として働いておりました。

これまでの経験とスキルを活かしながら精一杯取り組んで参ります。

私は、毎朝 欠かさずウォーキングをしながら季節の変化を感じる事が大好きです。

体力には自身がありますので 明るく元気に頑張ります。

皆様、どうぞ宜しくお願いいたします。

この度、理事を拝命いたしました麻生幸（あそう みゆき）と申します。簡単に自己紹介をさせていただきますと、これまで現在「コープみらい」となっているちばコープや生協のシンクタンクである生協総合研究所の理事などをしてきました。本業は千葉商科大学で教鞭をとってききましたが、そこで千葉商大生協におられた亀井専務とお付き合いをさせていただきました。以来40年以上になります。

ところで先日ある会で久しぶりにお会いして、現在さいたま高齢協でお仕事をされていると聞き、お手伝いできることがあればいつでも呼びくださいと話したところ、このような大役を仰せつかったというわけです。

大学では経営学の研究をしながら生協だけでなく、企業の経営者とも交流してきました。また、大学の子会社を作り経営の実践もしてきました。こうした経験を活かして微力ながら貢献できたらと考えています。



麻生 幸
千葉商科大学大学院
名誉アドバイザー

■所沢地域 まあちの会議室の有効活用 の検討開始

所沢地域福祉事業所の1階の会議室は、月数回の業務会議と月2回のサロンの利用に留まっています。より有効な活用が求められることから、世話人会で会議室の有効活用について検討され、①月2回のサロンの継続、②所沢市が行っている介護予防「100歳体操」の開催、③手芸など手仕事でお手玉をつくり学校に寄付するなどのアクションを起こす案などが話し合われました。また、④会議室を他団体に貸す場合の取決めを作る必要があると確認しました。

組合員の皆様からも、こんな活動のために利用したいなどご意見をお寄せください。



連絡先:本部 04-2941-2111

■三郷地域 認知症カフェ『オレンジエ カフェ』オープン

認知症の人とその家族、地域住民のだけれどもが気軽に集い交流できる場所として、認知症カフェを2025年4月にオープンしました。

これは三郷市の委託事業として、さいたま高齢協が受託しています。店名は『オレンジカフェ』とし、おしゃれなコーヒーショップをイメージしました。

ご自分でコーヒー豆を挽き、ドリップし、本格的なコーヒーを楽しめます。

利用料金は200円。飲物・お菓子付き。毎月第4土曜日に13時30分～15時30分に営業します。



オレンジカフェの入口

(三郷市早稲田4丁目)

☆オレンジカフェ・フードパントリー
のお問合せは上記本部まで

■北本地域 フードパントリーの取り 組み

会員のほとんどが加入している「フードパントリー北本東」の取り組みも4年目になります。年に4回開催しています。

3月16日のフードパントリーでは、米騒動が起こりかねない状況ですが、お米200キロを確保して50世帯の約100名の方々に提供しました。野菜も近所の農家さんからいただき提供できました。

北本支部では、このほかに2025年度は①買い物＆カラオケツアー、②講演会や映画鑑賞会、③介護予防のための仲間づくりなどの活動を進めています。



フードパントリー北本東の皆さん